

修学資金などについてよくあるご質問(7.30説明会にご参加いただいた方からの質問より)

①出願全般について

<p>修学資金貸与のための面接の申込書は、PDFや紙ベースのものをコピーして使用するのでしょうか？</p>	<p>紙での出願となります。下記URLより各修学資金制度へアクセスいただくと令和2年度向け募集要項をダウンロード可能となっております。応募書類を印刷していただき記入の上、所定の期日までに郵送もしくは直接ご持参をお願いします。 【URL】https://ibaraki-dl.jp/high_school/</p>
<p>私は日本国籍ではありませんが、永住権をもっています。地域枠の修学資金貸与制度に応募できますか？</p>	<p>本制度は国籍を要件としておりませんので、地域枠の応募要件に該当する方であれば、国籍が日本でなくても応募いただくことは可能です(実際に外国籍の地域枠修学生の方もいます)。応募いただいた後、県面接と大学入試を経て大学が可否を決定します。 具体的には以下が応募要件となっております。</p> <p>【県内対象(①か②のいずれかに該当する方)】 ①県内の高等学校等を卒業(見込みを含む)した方 ②県内に居住する方の子(令和2年度入試については出願時において1年以上居住していること)</p> <p>【筑波大学全国対象】 ・筑波大学の出願資格を満たす方</p>
<p>私は日本国籍ではありませんが、永住権をもっています。海外対象医師修学研修資金に応募することができますか？</p>	<p>本制度は国籍を要件としておりませんので、応募いただくことは可能です。 県の面接により貸与の可否を決定します。</p>
<p>杏林大学は、茨城県地域枠としての募集人員はありますか？</p>	<p>令和2年度の杏林大学の茨城県地域枠の募集定員は2名です。なお、杏林大学の募集要項等においては「地域枠」ではなく「茨城県地域医療医師修学資金貸与制度」として表記されておりますので、ご注意ください。</p>
<p>東京医科大学の茨城県地域枠の募集人員を教えてください。</p>	<p>令和2年度の東京医科大学の茨城県地域枠の募集定員は8名です。</p>
<p>帝京大学、東京医科大学の地域枠の受験方式が知りたいです。</p>	<p>帝京大学の地域枠は一般入試、東京医科大学の地域枠は推薦入試です。</p>
<p>地域枠の応募資格(2)県内に居住する者※の子について、「<予告>今後、出願時の居住年数を「3年以上」に変更予定」とありますが、「3年」とは、出願時の居住年数が連続3年なのか、合計して3年で良いのか、それはいつ決定するのでしょうか。 茨城県には合計で20年以上居住していますが、5年間県外に住んでいたことがあり、昨年からは再び茨城県に居住しています。また、受験生本人は県外の高校へ通学しています。</p>	<p>1. 居住年数は連続3年なのか、合計3年なのか →連続で3年です。県への出願書類としてご提出していただく住民票で確認します。なお、筑波大学の地域枠(全国対象)に関しては、出身地を問わず出願可能です。 2. いつ決定するのか →令和4年度入試から変更予定です。</p>

②地域枠の併願について

茨城県地域枠がある大学同士の併願は可能ですか？	地域枠同士の大学で併願可能な組み合わせと不可能な組み合わせがあります。具体的な例について、以下のURLにアクセスいただき、「地域枠併願Q&A」をご覧ください。 【URL】 https://ibaraki-dl.jp/news/high_school/1654/
地域枠同士で併願した場合、複数回の県面接を毎回受験しなくてはならないのですか？	県面接を受ける必要があるのは初回の1回のみです。例えば、10月26日に県面接を実施予定の北里大学と11月23日又は24日に県面接を実施予定の日本医科大学を併願した場合、両大学とも10月の県面接の結果を使用することとし、11月の県面接は免除します。ただし、出願書類は地域枠を受験する大学全てについて県へご提出いただく必要があります。
地域枠の応募書兼県面接申込書が3種類ありますが、最大3校に応募してよいのでしょうか？	県面接が同日になる大学同士(同じ様式の応募書兼県面接申込書に書かれている大学同士)は併願できません。また、推薦入試を実施する大学同士も併願できません。詳しくは「地域枠併願Q&A」をご覧ください。 【URL】 https://ibaraki-dl.jp/news/high_school/1654/
筑波大学の地域枠と東京医科大学の地域枠の併願は可能ですか？	両大学の推薦入試に出願することはできません。なお、東京医科大学の地域枠(推薦入試)が不合格となった場合にのみ、筑波大学の地域枠(一般入試)に出願可能です。
筑波大学の地域枠と筑波大学の学校推薦入試の併願は可能ですか？	筑波大学の地域枠推薦と筑波大学の地域枠以外の推薦を併願することはできません(今後大学から発表される募集要項もご確認ください)。
筑波大の地域枠と全国枠、併願の意味が良くわかりません。	筑波大学の地域枠入試には定員枠が2種類あり、出身地等に制限のある「県内対象」と出身地等を問わず応募できる「全国対象」があります。このうち、「県内対象」への応募資格がある方は「全国対象」にも出願いただければ、どちらかの枠で合格できる可能性があるということになります。
地域枠と自治医大との併願について 1. 出願は可能か？ 2. 先に合格が判明した大学に進むと理解してよいのか？	1. 日程が重複しない限り、どちらにも出願は可能です。ただし、自治医科大学に合格した場合、国立大学の前期入試日に入学手続きをする必要があります。 2. 地域枠に合格した場合は地域枠に入学いただくこととなります(杏林大学、日本医科大学、帝京大学は辞退可能)。
北里大学の地域枠の面接日と防衛医大の試験日が同日なのですが、どちらも受験することは可能ですか？	地域枠面接と防衛医科大学の試験のどちらか1つを選んで受けていただくようになります。

<p>地域枠を使うことで、不利になることはありますか？例えば、一般的な合格点は取れているけど、定員に入れず不合格になるとか。また、その様なことがある場合、枠を使用しない様に変更等はできるのですか？</p>	<p>可否については県ではなく大学が、県面接の結果と大学入試の両方の結果を踏まえ判断しておりますので、「地域枠を使うと不利になるかどうか」は県としては分かりかねます。「一般的な合格点は取れているが地域枠の定員に入れなかった場合、地域枠ではない定員の中で合格となるか否か」につきましても、各大学の方針や入試方式によって対応が異なることが考えられますので、大学にお問い合わせください。</p>
<p>修学資金貸与制度を私立大学のみ希望している場合は、国公立は筑波大学以外の受験でもOKか？また、筑波大学の場合は貸与制度を希望しないこともできますか？(国公立の場合は貸与制度が必要ないため)</p>	<p>受験自体は可能ですが、私立大学の地域枠に合格し、地域枠ではない大学にも合格した場合は、私立大学地域枠への入学を辞退できません。地域枠に1校でも受かった場合は必ず地域枠に入学いただくこととなります。私立大学と筑波大学の両方の地域枠に合格した場合はどちらかの大学に進学し、必ず地域枠修学資金の貸与を受けていただくこととなります。</p>
<p>北里大学の地域枠指定校推薦入試で2名が充足せず、一般入試で地域枠の追加募集があった場合、地域枠でない試験と地域枠の試験の併願は可能ですか？</p>	<p>北里大学へ確認したところ、地域枠でない一般入試と地域枠の一般入試の両方への出願は不可との回答がありました。</p>

③日本医科大学の地域枠について

<p>日本医科大学の令和2年度(2020年度)入学試験要項の「一般入学試験地域枠」のページには、「福島県1名(後期1)」「千葉県4名(前3、後1)」「埼玉県2名(前1、後1)」「静岡県4名(前3、後1)」の4県11名しか記載がありません。「茨城県枠2名」は、「一般入学・前期」に該当するととらえるべきでしょうか？「一般入学・後期」や「センター試験(国語)併用」には該当しないでしょうか？また、該当するとしたら、人数枠はどのようになりますか？</p>	<p>日本医科大学の大学募集要項では「茨城県地域医療医師修学資金貸与制度枠」として表記されておりますので、「各種奨学金等」のページに記載があります。</p> <p>日本医科大学での茨城県枠2名については、千葉県、福島県、埼玉県、静岡県とは違い、「一般入試・前期」や「一般入試・後期」、「センター試験(国語)併用」を受験し、合格した者の中に茨城県地域医療医師修学資金貸与制度への応募者(茨城県の面接を受けた方)が含まれていた場合、上位2名に貸与されることとなります。※前期の入試結果で2名が充足した場合、後期で募集はいたしません。</p>
--	--

④地域枠の卒業後のことについて

<p>地域枠で卒業した後、筑波大と他大学で研修病院に差はあるのでしょうか？</p>	<p>差はありません。本県の地域枠は7大学に設置してありますが、筑波大学であっても他の6の県外大学であっても、医師の免許を取得した後直ちに勤務していただく臨床研修病院は、県内に所在する20病院(R元年度現在)のうちのいずれかとなります。</p>
<p>地域枠で卒業した後、一般入試組と地域枠組で、研修病院、及び待遇差はあるのでしょうか？(勤務時間等)</p>	<p>差はありません。修学資金にかかる勤務義務のために研修先のローテーションで配慮が必要となる場合がありますが、勤務環境や待遇等は地域枠であるか否かで格差が生じることはありません。</p>

⑤その他の質問(教育ローン・医師修学資金について)

<p>医学部進学者向け教育ローンについて、もっと詳しく教えていただきたいです。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. どの金融機関から融資を受けられるのか？ 2. どのように進めればよいのか？ 3. 何年間で返済すればよいのか？ 4. いつ頃から動けばよいのか？ 5. 必要な書類等は？ 6. 返済のスタートはいつからか？ 7. 金利がゼロにならない時はどのような時か？ 8. 融資を受けられる額は収入等に関係があるのか？ある場合は詳しく知りたいです。 	<p>1. 融資を受けられる金融機関は、県と協定を結んでいる、常陽銀行、筑波銀行、茨城県信用組合、水戸信用金庫、結城信用金庫となります。</p> <p>2, 4, 5のご質問については、地域医療支援センターHP「イバラキドクターズライフ」に令和2年度向け交付予約募集要項を掲載しておりますので、以下のURLにアクセスいただき、ご覧ください。 【URL】https://ibaraki-dl.jp/news/doctor/148/</p> <p>3, 6, 8のご質問については、借入金額や借入れを行う金融機関によって異なるため、借入れをお考えの金融機関にお問い合わせ下さい。</p> <p>7. 予算に限りがありますので、予算を超えての応募があった場合には、利子補給を受けることができないこともあります。</p> <p>なお、医学部卒業後10年以内に県内の医療機関に2年以上勤務しなかった場合には、県が支払った利子補給金を返還していただくこととなります。</p>
<p>以下の制度がどの程度利用されているか(何名使用したか、競争率について、過去の実績等)ご指示下さい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 医師修学資金(募集20名) 2. 教育ローン利子補給事業(50名程度) 	<p>1. 医師修学資金について 今年度までの累計貸与者数:173名 うち令和元年度在学学生:66名 例年、定員20名のところ、応募者が20名を超える年もありますが、応募者の中に合格発表前の方も含まれているため、最終的には貸与者は20名以内に収まっている状況です。</p> <p>2. 教育ローン利子補給事業 昨年度の交付予約者は、15名です。</p>
<p>「修学資金制度は総合診療医や家庭医のみを養成する制度ではありません」と書いてありますが、詳しい内容を説明して頂ければ幸いです。</p>	<p>本県の医師修学資金貸与制度は、3種類とも将来勤務していただく診療科を限定しておりませんので、ご本人の希望する診療科に進むことが可能です。</p> <p>また、19の基本領域のうち、臨床検査科を除く全ての診療科について、専門医資格の取得と修学生としての勤務義務を両立できるキャリア形成プログラム(モデルプログラム)を、県と医療機関が協議の上、作成しており、ほぼ全ての診療科の専門医資格を取得することができます。</p> <p>【参考】H31修学生向けモデルプログラム http://ibaraki-dl.jp/wp/wp-content/uploads/2018/10/c1ef0afabaac864e595c0e7fdafcbce88.pdf</p>